「新ほほえみアクションプラン」

令和６年度改訂版

小野市教育委員会・不登校対策担当者会

❶ 児童（生徒）理解

欠席者早期対応プラン（共通指針）

①欠席１日目は学級担任が激励電話
（体調不良以外は１日目で家庭訪問）
②２・３日目は学級担任が家庭訪問
③４日目以降はチームを組んで組織的対応
④校内サポートルームの有効活用

＊生活アンケート等で早期発見・早期対応！

情報の共有（担任・担任外）

・遅刻や早退の様子　・学力の低下
・授業中の態度　・友人関係の変化
・服装の乱れ　・部活動の欠席
・宿題の忘れ　・いじめの兆候

❷ 保護者との連携

基本的生活習慣の確立

・寝る時刻、起きる時刻、朝食時刻の固定

家庭学習の習慣化

・「おの検定」・家庭学習の手引きの活用

情報発信

・学校（学級）通信、ＨＰ、連絡帳等で情報発信

「脳科学の知見より」

睡眠
早ね・早起きの習慣化

食
バランスの良い朝食を摂取

コミュニケーション
親子の会話を大事に

❸ 学校組織力の強化

校内及び小中一貫不登校対策

①普段から「チーム学校」としての対応
②小・中合同事例研修
（検証と復帰プラン）
③新たな要因の分析と対応
④教育サポートセンターの活用

新たな要因

・発達障害との関係・いじめ問題との関係
・児童虐待との関係・養育放棄の問題
・生徒指導上の問題・SNS ネット依存の関係

安心できる支援体制

❶ 児童（生徒）理解

（１）家庭訪問のポイント

①組織的・計画的な訪問
②学校復帰プラン策定（合意形成）
③コミュニケーションを重視

（２）教育相談で信頼関係

①受容と共感で理解
②児童生徒の自己決定力の養成
③必要により電話等で連絡

（３）学力の補充

①校内ｻﾎﾟｰﾄﾙｰﾑ・放課後学習支援
②おの検定の活用

❷ 保護者と連携

（１）教育ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰの啓発

①「教育ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ」体験・通級
②「やまびこの郷」「神出学園」
等と連携

（２）教育相談の充実

①ＳＣ/ＳＳＷと連携
②守秘義務の徹底
③丁寧で柔軟な対応

（３）ネットワークづくり

①関係機関と連携強化（医療機関等）
②市の関係部局との連携
③フリースクールとの連携

❸ 学校組織力の強化

（１）『心の居場所』づくり

①部分復帰→完全復帰
②校内ｻﾎﾟｰﾄﾙｰﾑの活用
③保健室・放課後登校

（２）不登校対策会議の開催

①校内・小、中の連携
②担当者のリーダーシップ
③養護教諭、SC/SSW と連携

（３）データ管理

①月１回のデータ報告（分析）
②「要観察」として経過確認
③個々の目標設定